

# お祭りに 新たなお洒落を



二輪車部品製造などの山田金属（磐田市池田）が、自社の加工技術を生かして、日本の祭りに欠かせない横笛をアルミニウムで製作し、今月に商品化した。十五パターンの多彩な色から選べ、丸洗いでいつも清潔さを保てるのも特徴。名前も入れることができ、山田善彦社長（四〇）は「好みの色の笛を持ってお祭りで目立つてもらいたい」と売り込みを図る。

（宮沢輝明）

## 磐田の山田金属 部品加工技術生かす

山田社長は、自社の独自製品の開発を目指す中で三年前、直径一センチ、長さ五センチほどで三つの穴が開いたアルミニウムパイプを眺めていてアイデアを思い付いた。横笛についてまったく素人だったことから、「日本の音篠笛事始め」といった書籍を読んで研究し、音の高低のバランスが良い「七孔六本調子」を試作した。

長さ四十四センチ、直径十七ミリ、重さ九十一グラム。竹製とアルミニウムでは音に対する感覚が異なるため、指で押さえる穴「指孔」を真円ではなく橈円にして、竹製の笛の音に近づけた。

息を吹き込む穴「歌口」のすぐ横の端にある「管頭」をねじ式にしたのも工夫の一つ。取り外せば内部に遮るもののがなくなるため、布を巻き付けた棒を差し込んで内部を簡単に洗つことができる。

展示会で披露したところ、「お洒落」「色が豊富」と好評で、「お洒落に楽しんでほしい」との意味で「洒樂斎」と名付け、今月から販売を始めた。

「作るだけではなく、演奏してみたい」と地元の祭り関係者から手ほどきを受けた山田社長。初心者でも高音域を出しやすく、肺活量が少くとも大きな音を出しそうに仕上がったという。「帯の色に合わせられるし、管頭を別色の物に交換もできる。祭り好きの若い女性にお似合いでは」と話す。

一本一万一千円。名前入れは千百円から。問い合わせは山田金属＝電05338（37）7011へ。

色が豊富なアルミニウム製の横笛＝磐田市の山田金属で

# アルミニウム横笛 選べる15色